

具体的な場所を想定した交流拠点のイメージ（各班の主な意見）

保土ヶ谷小学校跡地

■まちの内外の人が集まる場所づくり

- ・周辺民間施設と連携したアクセス路の確保
- ・イベントしやすく周辺からも見やすい広場確保
- ・ゆとりのある外部空間や中庭を囲んだ建物配置
- ・子連れが行きやすい場所、子供の遊び場
- ・地域活動への参加が少ない父親、学生も対象に！
- ・雨天時利用可能な広場（屋内または半屋内）
- ・ピオトープの活用

■地域イメージを強める情報発信

- ・地域情報を集めて「保土ヶ谷」のイメージづくり
- ・歴史展示
- ・商店や飲食店等の地域施設 PR
- ・食をテーマにした活動・情報の発信
- ・横浜ブランドの発信や保土ヶ谷名産 PR

■訪れやすい街へ

- ・ガイドボランティアの常設
- ・ツアー参加者の安全な歩行空間の確保

■まち歩き等に活躍する休憩機能等

- ・まち歩きサービス（ガイドツアー、宿泊・飲食）
- ・茶屋的なお休み処（地元野菜を活用した料理提供）
- ・トイレ

■継続的なイベントの展開

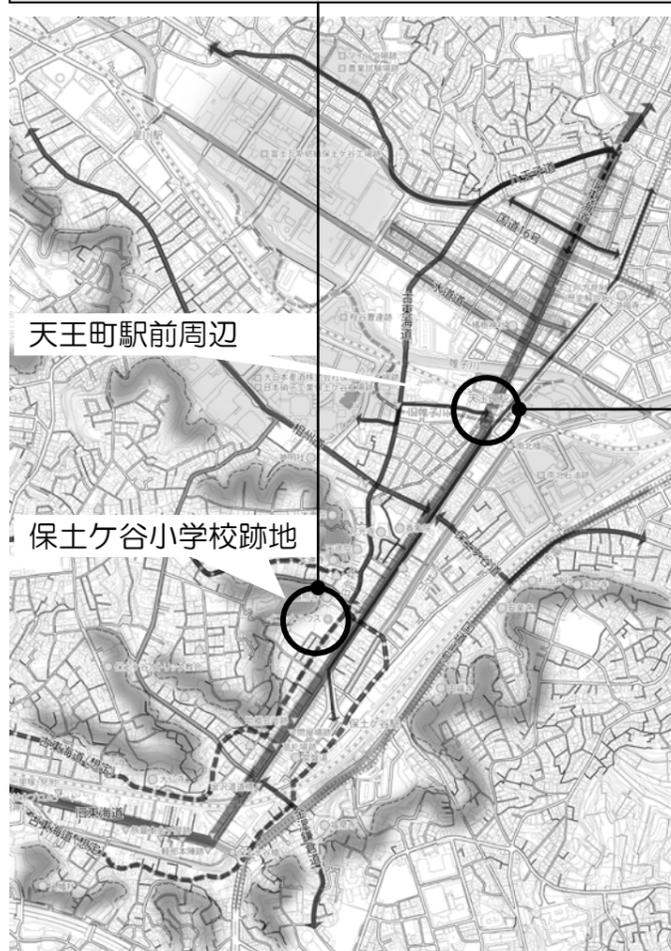
- ・宿場まつりやごうどいち等のイベント会場
- ・野外映画館

■案内人育成の取組み

- ・縁側講座の開設
- ・地元の話の聞ける機会の創出
- ・地元でしかわからない情報の紹介

■災害への備え

- ・防災拠点機能、会議室
- ・一時避難場所としての整備が必要
- ・避難場所マーク・記号の明示
- ・外国人や障害者等多様な避難者の受け入れ態勢
- ・災害時の地域の支援体制や備蓄の確保



天王町駅前周辺

■旧東海道の道筋を活かした駅前空間づくり

- ・公園再整備により駅前とつなぐ
- ・帷子橋を太鼓橋化するなど視覚的にも活用

■地域内外に向けた情報発信

- 〈来街者向け〉
 - ・歴史展示・情報発信（ジオラマ・今昔写真・パソコン検索等・散策マップの配布）
- 〈地域住民向け〉
 - ・居住者向け情報提供、地域利用ギャラリー

■立ち寄りやすい休憩機能

- ・カフェ・お茶処
- ・公民館的施設と休憩施設の融合

■地域で集まれる機能

- ・地域住民向け集会所

公共施設等跡地

■生活の延長上にある居場所づくり

- ・地域の歴史紹介
- ・市電が通っていたことの紹介
- ・防災拠点機能と交流機能の複合化
- ・駅から直通
- ・ミニバスの停留所設置
- ・駅伝の応援スポットの定番化
- ・子連れが行きやすい場所

発行：横浜市道路局企画課 担当：故島、松丸、三角

問合せ先：（電話番号）045-671-3533 （FAX）045-651-6527

編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区政推進課

保土ヶ谷宿エリアの
交流拠点づくりワークショップを開催しました！

◆保土ヶ谷宿エリアの交流拠点づくりワークショップについて◆

旧東海道「保土ヶ谷宿」を未来へつなげる「まち・みち再生計画」の策定に向けて、旧東海道とその周辺の、交流拠点づくりについて考えるワークショップを平成27年11月30日（月）に開催しました。

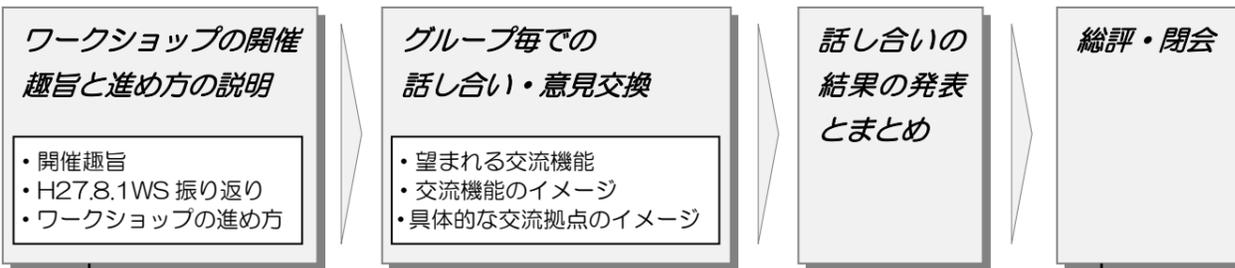
ワークショップ当日は、参加者の皆さんと意見交換を行い、地域に望まれる交流機能や具体的な場所を想定した交流拠点のイメージについて確認することができました。

◆ワークショップ（意見交換）のテーマ

保土ヶ谷宿エリアに望まれる
交流機能・施設の検討

- ①保土ヶ谷宿エリアに望まれる交流機能のイメージ出し
- ②交流機能の配置検討
- ③交流拠点のイメージ検討

◆当日の進行プログラムと開催の様子



・8月のワークショップで点検まち歩き・アイデア出しを行ったまち歩きルートも参考にしながら、交流機能・施設について意見交換、発表を行いました。

1班

歴史展示機能：生活に身近な場所の利用

歴史資料の常設展示（第二常盤湯の脱衣所利用等）

地域情報の発信機能：多様な時代の紹介による観光案内

各時代の歴史を俯瞰できるインフォメーション機能

天王町駅前に宿場の情報発信・案内をするカフェコーナー等

集会機能：気軽に立ち寄れる場所づくり

地域の集う場所を設け休憩所としても機能する場所

パソコン等で歴史情報が確認できるスペースが必要

お休み処・休憩機能：まち歩き等での活用

お休み処の活用・充実により歩く人の目につくこと！

まち歩きをサポートするお休み処（お茶、便所）

特徴的な交差点等で滞在できる空間が欲しい

道の駅的機能：地産地消を促進し、地域の食を育てる

保土ケ谷産（農産物や工業製品）を活用した加工食品・弁当等の企画・開発

水辺機能：憩いや潤いを感じる場所づくり

今井川の中州周辺を活用できると良い

3班

展示機能：多様な歴史の紹介

東海道だけではなく奥の深い歴史を紹介

情報発信機能：保土ケ谷の「今」をPR

都内の方や横浜市内の方に向けてPR

今ある資源を改めて発見し、活用することが重要

新しく保土ケ谷に来た人に保土ケ谷に何度も来てもらえるようなアピールすることが必要

集会機能：多様な人の活動の交流促進

ジャンルを広くとらえて多様なコミュニケーションが図れるような取り組みが必要となる

保土ケ谷のビジョンづくりのために

若い世代が活動団体に積極的に参加すること。そのために活動時間等を工夫する必要がある

地域活動をサポートする機能

レンタサイクルスペースの設置

雨天時もイベント利用できる場所の確保

地域内の様々な相談等に乗ることができるガイド等が常駐できるスペースが欲しい

活動団体の拠点づくり

地域内で活動する各団体が集い、情報交換を実施する場所が必要である

2班

展示機能：多様な歴史の発信

まちの変遷や時代別重要スポットの展示

江戸だけでなく、近代（明治）や太古（鎌倉以前等）のまちの歴史も紹介

本陣跡には古文書閲覧機能等

情報発信機能：地域に縁のあるヒトやモノ等の紹介

保土ケ谷に縁のある人の紹介と関連イベントの実施

集会機能：地域のコミュニティ活動等での多様な使われ方を促進

地元野菜の料理教室等が開催できる調理室

お休み処・休憩機能：まち歩き等での活用

まち歩きや地域の散歩中に利用できるトイレが必要

道の駅的機能：保土ケ谷の地産地消の展開・発展

保土ケ谷で作った特産品を使った全国各地の名物を調理できる場所

保土ケ谷の名物を企画・開発できる機能

農産物の直売所が定期的で開催されると良い

地域の資源を活かした活動等により、多様な世代が交流できる仕掛けや場所づくり

子育て世代～老人までが交流できる場所

4班

食の発信機能：地域の資源を多角的に捉えた保土ケ谷のとおき情報の紹介

横浜ブランドや保土ケ谷の名産をPR・発信

新しい食の開発

朝市等の直売を継続的に実施

集会機能：来街者も利用できる場所づくり

まち歩きの人向けのサービスの充実（宿泊や飲食）がどこまでできるのか

既存の交流施設の利用促進

子育て支援施設

保土ケ谷のビジョン

外の人を喜ばすものが住民にとっても夢になることを目指す

お休み処・休憩機能：まち中に点在し、まち歩き中に気軽に立ち寄れる場所づくり

案内ポイントのポケットパーク化

まちあるきのお休み処が街中に点在

まち歩き時に活用できるトイレの設置

地域情報を介した多様なコミュニケーションづくり

地域案内人の育成

参考：保土ケ谷宿エリアの交流施設例



参考：保土ケ谷宿エリアの交流施設例

